





# 世界經濟展望

## イギリス 戦債支拂

アメリカ政府は十二月十五日の期日にイギリスから九千五百五十万ドルの戦債支拂を受け、佛白外三ヶ國の支拂分合計二千六百二十一萬二千九百餘は不履行に終わったが、この大部分も結局は支拂はぬわけに行かない。

イギリスの支拂はイングラント銀行の準備金の中から引出して送金したもので、イングラント銀行と對しては政府が大藏省證券を發行しては政府が大藏省證券を發行して渡す管である。

## 小麦相場急落

十二月十六日のシカゴ小麦市場は軟弱で初め一セント半の暴落を演じた。これはアメリカ農務省の最終小麦豫想が前日より増収を示したこととリビアブル及びウイニペグ市場軟調の影響を受けたためである。ウイニペグ市場では十二月限のごとき前日より二セント八分ノ三方落し三十九セント八分ノ三と未曾有の安値に陥没した。

## 石油限産協定

パリで開會中であつた國際石油會議は石油の價格引上げを目的とする限産協定の成立を、十二月十三日閉會した。會議後發表されたコミュニケによるとロシアとルーマニアとの確執も解け、ロシアの石油も輸出されることになり、外貨も可能となつた。但し原料品、食料品等を除き貨物を輸入するには國立銀行の許可が必要である。

## 爲替制限國増加

### 制限國數三十五に上る

圓爲替の動搖に連れて最近爲替統制問題が眞面目に考究されるやうになつた。よつてこの際各國において如何なる統制が行はれてゐるか、鳥瞰的に解説し、更にその對策を紹介しよう。

## ヨーロッパ

### △オーストリー(一九三一年十月)

爲替取極めに對する制限は嚴重で、外國人勘定のものは假令同國貨幣 Schilling で送金する場合でも國立銀行の許可を得ねばならぬ。爲替の公定相場は金本位を基準として國立銀行が決定する。然しこの相場を維持せんとすれば輸出減退を來す虞れあるに付ウィーン振替貯金銀行(Wiener Giro-und Kassenverein)をして

### △デンマーク(一九三一年十一月)

爲替取引は政府指定の銀行を經由することは他國と同様であるが、最近制限が著しく緩和され、

### △エストニア(一九三一年十月)

爲替業務は専らエストニア銀行が嚴重に管理し、多數貨物の輸入を制限してゐる。

### △ドイツ(一九三一年七月)

入業者の名は所在地の商業會議所に登録され、毎月一定額の外國爲替買入れを許される。割當額は一九三〇年十月における必要額の半分を基準とするが、最近の實際はこの基準の更に半額を認めてゐるに過ぎない。而して割當額を増加することは頗る困難であるからドイツの輸入業者はその割當額の範囲まで注文を制限してゐるわけである。

先立ち此等銀行の許可を必要とする銀行で爲替業務を取扱つてゐる。

△イタリア 銀行が申合せをして爲替制限をしてゐるが輸入代金送附には別に困難なし。

△ラトヴィア(一九三一年十月) 國立銀行が専ら爲替業務を取扱ひ海外送金には別に爲替委員會の許可を要する。

△リビア 對外支拂は一々中央銀行に登録せねばならぬが送金には別に制限はない。

△ノルウェー 政府が爲替取引を制限してゐる譯ではないが、銀行家が申合せをなし、貨物を輸入するに際しては豫め銀行と打合せをして置くやう輸入業者に要求してゐる。

△ポロランド(一九三一年六月) 本年六月七日以來ポロランドの銀行は金貨及び金塊の取引を中止し外國爲替の賣渡は正常なる旅行貿易、外債利拂費用に限ることゝした。

△ポルトガル(マデイラを含む) 貨物輸入の際に一定の手續を要するが、爲替の制限は緩やかで、百ポンド以下の送金に對しては何等許可を必要としない。

△ルーマニア(一九三一年五月) 外國爲替業務は國立銀行に統一され、輸出により得た外國爲替は全部國立銀行に賣渡すことになつてゐる。本年九月十五日以後の輸入貨物は到着後三ヶ月経たねば爲替を組むことが出来ない。日下更に政府に於て新制度を研究中の由。

△スペイン(一九三〇年七月) 以前は手續が面倒であつたが、最近餘程簡單化し、外國爲替を買ひたい者は輸入書類を添へてマドリットの中央爲替管理局へ申請することになつてゐる。

△トルコ(一九三〇年七月) 爲替管理の先驅者たるトルコでは、從來取締嚴重であつたが、本年九月十八日以來輸入品取引税支拂濟なる税關の受取證を提示すれば銀行は爲替を賣却して差支へないことになつた。しかしなほ多數の商社は輸入制限を受けてゐる。

△ユーゴスラヴィア(一九三一年十月) 國立銀行及び政府の指定する銀行で爲替業務を取扱つてゐる。

## 南米・中米

△アルゼンチン(一九三一年十月) 爲替投機防止を目標として、政府の外貨管理委員會が爲替取引を監督し、爲替レートを決定する。輸入品金額五千ペソ以下の場合には別に制限はないが、爲替品織物類、生糸其他の輸入については一々豫め特許を得て置かねばならぬ。

△ボリビア(一九三一年十月) 初め中央銀行の爲替委員會が管理してゐたが本年六月から政府の爲替管理局の手に移された。

△ブラジル(一九三一年十月) 外國爲替取引はブラジル銀行が獨占しレイトも同行が決定する。貿易關係の爲替は窮屈ながら手に入るが對外投資、利拂等に對しては爲替を賣つてくれない。

最近國內擾亂のため去る七月下旬聯邦州及びサオパウロ州でモラトリアムを施行し、爲替は MEF 貨でブラジル銀行に預金せしめた。十月末までに満期となるものに對しては六十日間、十一月一日以降十二月末日までに満期となるものに對しては三十日間の支拂猶豫を認め、この新期限満了の際には毎月二割五分宛四ヶ月間に月賦償還のこととし、希望により外國爲替で交付することになつてゐる。

△チリ(一九三一年七月) 政府の管理委員會に於て統制するが實際の爲替業務はチリ銀行で取扱ふ。同行で日レイトを決定し管理委員會の許可を得た者に對してのみ爲替を賣却する。

△コロンビア(一九三一年九月) 爲替管理局及びコロンビア銀行で統制する。本年四月の法令により一九三一年九月廿四日以前の輸入による對外債務は全部登録すべきことを要求し、これに對し何回かに分割して爲替を賣渡すことゝなつた。

△コスタリカ(一九三一年一月) 爲替諮問委員會が一切の爲替取引を管理し、爲替取引には一々同委員會の許可を必要としてゐる。(以下次頁へ續く)

## 國際政治日誌

月二十一日 日曜日

月二十七日 土曜日

### 國際聯盟

十二月十二日 總會より日支紛争問題審議の委任を受け、十九ヶ國委員會開會。

その結果總會に提出すべき決議案起草の五ヶ國分科委員會を任命。

十三日 起草委員會秘密會議

十四日 同上續開。

十五日 同上第三次會議を開き決議案並に報告書起草。

十九ヶ國委員會で右を可決。決議案が日支兩代表部に内示された。

△メキシコ聯盟を脱退す。

十六日 起草委員會を更に開會したが具體的結果を得ず。

我が代表部本省へ請訓。

十七日 起草委員會續開。

我が回訓代表部に到着す。

### 海

十二月十一日(日)

【軍縮】 ドイツの軍備均等要求解決の新方式に關する宣言が米英獨佛伊各代表署名の下に議長ヘンダーソン氏に提出された。

【英】 對米戰債支拂を通告。

【米】 對米戰債支拂を通告。

【英】 イギリスの戰債通牒の留保條項に同意せずと表明。

十二月十二日(月)

【英】 チェンバールン蔵相は對米戰債交渉の成功を信する旨パリンガムで演説した。

【伊】 フランスと大評議會の最終會議において各國間の關稅引下げ勸奨を決議す。

【支】 東支鐵道紛争を契機に一九二九年七月以來斷絶状態にあつた露支國交が回復した。

【露】 露支國交はジュネーブにおいて露支復交に關し聲明した。

【蘇聯】 外務人民委員長リトヴィノフはジュネーブにおいて露支復交に就き聲明書を発表。

十二月十三日(火)

### 内

十二月十七日(土)

【英】 日本その他通貨下落國からの輸入品にダムピング防止税を課すべしとの提議が下院にあらはれたが政府側は拒絶した。

【佛】 エリオ氏大統領の組閣依頼を拒絶、カミーユ・ショータン氏は委嘱を受諾した。

【支】 三中全会續開會す。

十二月十六日(金)

【英】 外國商社に對する營業稅賦課に關し南京政府へ抗議。

【佛】 ショータン氏組閣不能。

【支】 三中全会に抗日案提出さる。又王正廷氏は膠濟鐵路買収案を提出した。

十二月十七日(土)

【米】 戰債不拂國に對し一般戰債會議開催に反對する旨通告す。

【佛】 上院は十二年後比島獨立を許さんとするホーズ・カッテンブルグ案を最終的に可決した。

【佛】 ボンクール氏が大統領の組閣委嘱を受諾した。

【白】 前首相ブロック・ヴェル伯を首班とする新内閣成立。

【支】 三中全会に吳鐵城氏らが支那新業績保護案を提出した。

十二月二十二日(木)

【植民地に關する】 明年度特別會計豫算の査定終了す。

【十三日】 聯盟における日支紛争和協委員會に露兩國を参加せしむる點に關しイギリス大使リンドレー氏より好意的通告を受けた外務省は飽くまで既定方針に基いて邁進するに決す。

【十四日】 樺太土人に刑事法規適用に關する勅令公布。

【十六日】 聯盟會議帝國代表部よりの請訓につき外務、軍部二省聯絡會議を開いて協議す。

【十七日】 聯盟決議案に對する修正要求が脱稿したので臨時閣議を開いて承認を得、ジュネーブ帝國代表へ回訓。

十二月十五日(木)

【國民同盟全體會議に對して】 廿二日の結盟大會に附議すべき政綱政策を協議決定した。



南米・中米

(前頁より續く)

△エクスアドル(一九三二年五月) 中央銀行で外國爲替を統制し、最高レートを同行で決定する。輸出は一旦全部同行へ集め、これを制限付で輸入業者に割當てらる。

△ニカラガ(一九三二年十一月) 中央爲替委員監督の下に國立銀行が爲替取極めを行はしめるが、毎週賣却する爲替は實際必要額の何割かに過ぎない様である。

△パラグワイ(一九三二年六月) この國の爲替取引は通常アルゼンチンの首府ブエノスアイレスを通じて行はれてゐる。従つて同國の爲替管理委員会はアルゼンチン當局と聯絡をとり外國送金は必要輸入品に對するものに限定してゐる。

△サルヴァドル 爲替管理は未だ實施してゐないが、爲替レートは公定してゐる。

△ウルグワイ(一九三二年九月) 一九三二年十二月末日現在の對外債務に對してはモントリアムを布き、毎月二割宛返済することとし、然し實際の支拂は延期され、交付をうける必要がある。

爲替制限對策

バーテックス制度

近來、爲替制限國が益々増加し今やその數が三十五ヶ國にも上つてゐることは國際貿易を著しく阻害するに至つた。

これがため一方においては爲替困難克服策が種々研究されてゐる先づどうして、かく各國の對外爲替制度は崩壊するに至つたか、それは金本位制の場合と同じく、左の原因に歸せられてゐる――

一、根本的には各國共貿易のバランスが合はぬこと。  
二、この差額は從來外國からの投資又は借金により辛うじて辻褄を合はせてゐた國が多いこと。

アフリカ及アジア

△アンゴラ(葡領西アフリカ) (一九三二年四月) アンゴラ銀行が一手に爲替業務を取扱つてゐる爲替資金は輸出代金の七割五分及びポルトガル政府の貸付金を以て賄つてゐる。而して品目により爲替賣却に心を加へる。

△葡領東アフリカ(一九三二年四月) アンゴラ同様の爲替管理行はる。

△葡領ギニア(一九三二年二月) 爲替管理委員會で管理。  
△モウリシアス 通貨管理委員會で監督す。

△日本(一九三二年七月) 本年七月一日より資本逃避防止法實施ベルンヤ(一九三二年五月) 政府は輸出代價の外國爲替を買上げる權限を有し、輸出業者は政府の指定する銀行へ輸出爲替を買却せねばならぬ。一方輸入業者は輸出證明書を提示して輸入許可書の交付をうける必要がある。

本年七月十五日現在の債務は一九三三年中に皆済すればよいこととなつた。而して一般爲替は國立銀行が嚴重に管理し、爲替相場を高く公定してゐる。

協定の内容

然らば爲替清算協定とはどんなものかといふに、これは断片的に知り得るに過ぎないが、例へばイスとハンガリー間の協定は次の如きものと傳へられてゐる。

即ちイスがハンガリーの貨物を輸入する場合、輸入業者はイス銀行内に管理してゐるハンガリー銀行の共同勘定へイス貨を拂込む、これと同様にハンガリーにおけるイス貨物輸入業者はハンガリーで國立銀行へ拂込む。而して或る一定の限度までは各國立銀行はその日の相場で自國通貨を以て輸出商に拂ひ得ることになつてゐる。

この案はロンドン商業會議所の提案になるもので、一種の物々交換制度である。しかし從來のごとく直接に交換を行はず、中央銀行を通じて、船荷證券によつて行はんとする修正物々交換制度である。

この案によれば、兩國の中央銀行は物々交換貿易の對内價值單位即ち兩國間に於てのみ共通の價值單位を定める。そしてこの單位をバーテックスと呼ぶ。例へばイギリスにおけるバーテックスは二十シクル、デンマークにおいては二十クローネと假定する。

今デンマークの輸出業者がイギリス人に物を賣り代金を請求する際にはバーテックス單位の手形を振出す。デンマーク銀行ではこれに船荷證券をつけてイングリランド銀行へ送る。イギリスの輸入業者は英貨のバーテックスで、この證券を銀行から買ひ取る。而してこの代金はデンマークへ送金され、デンマークの輸出業者へはクローネで支拂はれる。イギリスからデンマークへ輸出する場合はこの反對になる。

協定の内容

兩國間の輸出入が平均してゐる間は右の方法で何等面倒はない。然し輸出が輸入を超過するに多きと輸出超過の側にバーテックスが澤山集り、従つてバーテックスのレートを定める必要が生ずる。そしてこのレートの高下によつて買付を刺戟したり、販賣を減らしたりすることになるから兩國間の輸出入の不均衡を是正することが出来るといふのである。又兩國の中央銀行では直接及び先物バーテックス交換のレートを發表するから、賣手も買手も豫め手當をして置くことも出来る。

然しこの方策は勿論爲替制限國との貿易を復活せしむるための一時的の便法で、決して大々的貨幣制度の改革を目指すものではない。とロンドン商業會議所ではない。

この結果、提唱されるに至つた

ものがバーテックス(Barter)制度である。

この案はロンドン商業會議所の提案になるもので、一種の物々交換制度である。しかし從來のごとく直接に交換を行はず、中央銀行を通じて、船荷證券によつて行はんとする修正物々交換制度である。

この案によれば、兩國の中央銀行は物々交換貿易の對内價值單位即ち兩國間に於てのみ共通の價值單位を定める。そしてこの單位をバーテックスと呼ぶ。例へばイギリスにおけるバーテックスは二十シクル、デンマークにおいては二十クローネと假定する。

今デンマークの輸出業者がイギリス人に物を賣り代金を請求する際にはバーテックス單位の手形を振出す。デンマーク銀行ではこれに船荷證券をつけてイングリランド銀行へ送る。イギリスの輸入業者は英貨のバーテックスで、この證券を銀行から買ひ取る。而してこの代金はデンマークへ送金され、デンマークの輸出業者へはクローネで支拂はれる。イギリスからデンマークへ輸出する場合はこの反對になる。

兩國間の輸出入が平均してゐる間は右の方法で何等面倒はない。然し輸出が輸入を超過するに多きと輸出超過の側にバーテックスが澤山集り、従つてバーテックスのレートを定める必要が生ずる。そしてこのレートの高下によつて買付を刺戟したり、販賣を減らしたりすることになるから兩國間の輸出入の不均衡を是正することが出来るといふのである。又兩國の中央銀行では直接及び先物バーテックス交換のレートを發表するから、賣手も買手も豫め手當をして置くことも出来る。

然しこの方策は勿論爲替制限國との貿易を復活せしむるための一時的の便法で、決して大々的貨幣制度の改革を目指すものではない。とロンドン商業會議所ではない。

一時的便法

兩國間の輸出入が平均してゐる間は右の方法で何等面倒はない。然し輸出が輸入を超過するに多きと輸出超過の側にバーテックスが澤山集り、従つてバーテックスのレートを定める必要が生ずる。そしてこのレートの高下によつて買付を刺戟したり、販賣を減らしたりすることになるから兩國間の輸出入の不均衡を是正することが出来るといふのである。又兩國の中央銀行では直接及び先物バーテックス交換のレートを發表するから、賣手も買手も豫め手當をして置くことも出来る。

然しこの方策は勿論爲替制限國との貿易を復活せしむるための一時的の便法で、決して大々的貨幣制度の改革を目指すものではない。とロンドン商業會議所ではない。

この結果、提唱されるに至つた

ものである。

この案はロンドン商業會議所の提案になるもので、一種の物々交換制度である。しかし從來のごとく直接に交換を行はず、中央銀行を通じて、船荷證券によつて行はんとする修正物々交換制度である。

この案によれば、兩國の中央銀行は物々交換貿易の對内價值單位即ち兩國間に於てのみ共通の價值單位を定める。そしてこの單位をバーテックスと呼ぶ。例へばイギリスにおけるバーテックスは二十シクル、デンマークにおいては二十クローネと假定する。

今デンマークの輸出業者がイギリス人に物を賣り代金を請求する際にはバーテックス單位の手形を振出す。デンマーク銀行ではこれに船荷證券をつけてイングリランド銀行へ送る。イギリスの輸入業者は英貨のバーテックスで、この證券を銀行から買ひ取る。而してこの代金はデンマークへ送金され、デンマークの輸出業者へはクローネで支拂はれる。イギリスからデンマークへ輸出する場合はこの反對になる。

兩國間の輸出入が平均してゐる間は右の方法で何等面倒はない。然し輸出が輸入を超過するに多きと輸出超過の側にバーテックスが澤山集り、従つてバーテックスのレートを定める必要が生ずる。そしてこのレートの高下によつて買付を刺戟したり、販賣を減らしたりすることになるから兩國間の輸出入の不均衡を是正することが出来るといふのである。又兩國の中央銀行では直接及び先物バーテックス交換のレートを發表するから、賣手も買手も豫め手當をして置くことも出来る。

然しこの方策は勿論爲替制限國との貿易を復活せしむるための一時的の便法で、決して大々的貨幣制度の改革を目指すものではない。とロンドン商業會議所ではない。

制限國一覽

なほ次に現在世界における金本位停止國、爲替制限國等を列記して御参考にお供する。これは何れもロンドン商業會議所の調査に基づくものである。

▲金本位停止國  
アンゴラ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、デンマーク、エクアドル、エジプト、フィンランド、ギリシャ、日本、ルウェー、ペルー、ポルトガル、スペイン、スエーデン、ウルグワイ、オーストリア、メキシコ(銀)  
▲名實共に金本位制を維持せる國  
ベルギー、ドミニカ、フランス、リスアニア、オランダ、スイス、南アフリカ、イタリ、アメリカ  
▲法律上金本位制を維持せるも、種々の制限を設けて金本位制の實を失へる國  
オーストリア、ブルガリア、ロシア、エストニア、エストニア、ドイツ、ハンガリー、ユーゴスラビア、ラトヴィア、ニカラガ、ベルギー、ポランド、ルーマニア、ロシア、トルコ、ヴェネズエラ、カナダ  
▲爲替制限國(管理局又は中央銀行において外國爲替取引を制限せるもの)  
アンゴラ、アルゼンチン、オーストリア、ボリヴィア、ブラジル、ブルガリア、チリ、コスタリカ、チエッコ、フィンランド、ラトヴィア、リスアニアの六ヶ國が年賦金を支拂つた  
▼佛、白、ポランド、エストニア、ハンガリー不履行  
▼ニカラガ、ペルー、ラトヴィア、葡領東アフリカ、ルーマニア、ロシア、スペイン、トルコ、ウルグワイ  
▲對外債務のモントリアムを實施せるもの  
ブラジル、ドミニカ、ドイツ、ハンガリー、ウルグワイ、  
▲公定相場で外國爲替を許可せるもの  
チリ、デンマーク、エクアドル、ニカラガ、サルヴァドル、  
▲爲替及び輸入に許可又は割當制度を採用せるもの  
アルゼンチン、オーストリア、ペルー、ボリヴィア、ブルガリア、コロンビア、チエッコ、ラトヴィア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、ラトヴィア、オランダ、ベルギー、ポランド、葡領東アフリカ、ロシア、スイス、トルコ、ウルグワイ

國際經濟日誌

戦債問題  
十二月十一日 イギリス政府對米第三次通牒を發す。  
右に對するアメリカの回答を即日通達す。  
十二月十四日(水) 米棉急反撥を示し各限月何れも六セントに復活した。  
十二月十五日(木) アメリカ下院の農業委員会は棉花植付反別減少獎勵案を審議中であると。アメリカ農務省小麦最終豫想發表、冬小麦は前同豫想より二千萬ブッシェル方増収を示す。  
イギリスの對米戰債年賦金支拂のためイングリランド銀行より一千九百六十三萬四千ポンドの正貨が引出された。  
十二月十六日(金) シカゴ小麦相場軟弱、原因は農務省の冬小麦増收豫想と海外市場慘落のためである。  
ウイニベック小麦十二月限は三十九セント八分ノ三(一ブッシェルに付)と未曾有の新安値を現出した。  
イギリス政府は支那の外國商社に對する營業稅賦課に關し南京政府へ抗議した。  
支那の第三次中央執監全體會議に抗日案なるものが提出さる。  
國民黨及び國民政府が國民の日本品ボイコットを指導せよといふ亂暴な提案。  
十二月十七日(土) 米英爲替が氣丈を呈した。  
支那の三中全會議に吳鐵城氏等が支那紡績業保護案を提出。

十二月十八日(日) サヴェイト聯邦で國產材料より成る乗用自動車が出来た。  
上海工部局の明年度所要セメント十二萬樽の入札は全部日本品に落札した。  
十二月十九日(月) イタリーのファシスト大評議會は各國間の關稅引下げを奨励する旨決議。  
インド、セイロン、蘭領東インドの茶輸出制限協定の交渉が進捗す。  
十二月二十日(火) パリで開會中であつた國際石油會議で限產協定成立し會議終了す。

十二月二十一日(水) 預金部は地方よりの資金融通申込三億圓に達する狀況に鑑み資金調達について協議した。  
十二月二十二日(木) 大藏省證券一億圓を日銀引受けで借替發行中島商相肝煎りの製鐵合同計畫進捗し來議會に法案提出の豫定である。  
十二月二十三日(金) 米穀委員會は米穀法に基く米價基準價格を決定した。なほ適當の時期に政府所有内地古米約百萬石以内の買替を行ふことに諒解す。  
紡績午餐會は明年四月以降三ヶ月間の紡績操短率を現行据置に決定した。  
滿鐵礦山製造計畫による資本金二千五百萬圓の滿洲化學工業會社を大連に設立の件拓務省より認可を得た。礦山年産額は十八萬トンの豫定。  
十二月二十六日(金) 前日より繰越された日銀帳尻によれば兌換券發行高は十一億二百五十七萬二千圓と十一億圓臺を突破。  
大阪三品取引所取引員定時總會において人絹部委託手数料並に立會時間を決定した。  
糖業聯合會は本年産第一種糖十萬擔を明年二月以降捌卸することに決した。  
十二月二十七日(土) 大藏省發表によれば昭和六年度の貿易外收支は一億四千九百萬圓の支拂超過で貿易入超を合すれば二億九千萬圓の支拂超過となる。  
明年度特別會計豫算案が閣議で決定した。その公債發行豫定額は九千二百七十二萬六千圓。

十二月二十日(月) 政府は爲替管理法案を來議會に提出することに決定した。  
十二月二十一日(火) 預金部は地方よりの資金融通申込三億圓に達する狀況に鑑み資金調達について協議した。  
十二月二十二日(水) 大藏省證券一億圓を日銀引受けで借替發行中島商相肝煎りの製鐵合同計畫進捗し來議會に法案提出の豫定である。  
十二月二十三日(木) 米穀委員會は米穀法に基く米價基準價格を決定した。なほ適當の時期に政府所有内地古米約百萬石以内の買替を行ふことに諒解す。  
紡績午餐會は明年四月以降三ヶ月間の紡績操短率を現行据置に決定した。  
滿鐵礦山製造計畫による資本金二千五百萬圓の滿洲化學工業會社を大連に設立の件拓務省より認可を得た。礦山年産額は十八萬トンの豫定。  
十二月二十六日(金) 前日より繰越された日銀帳尻によれば兌換券發行高は十一億二百五十七萬二千圓と十一億圓臺を突破。  
大阪三品取引所取引員定時總會において人絹部委託手数料並に立會時間を決定した。  
糖業聯合會は本年産第一種糖十萬擔を明年二月以降捌卸することに決した。  
十二月二十七日(土) 大藏省發表によれば昭和六年度の貿易外收支は一億四千九百萬圓の支拂超過で貿易入超を合すれば二億九千萬圓の支拂超過となる。  
明年度特別會計豫算案が閣議で決定した。その公債發行豫定額は九千二百七十二萬六千圓。

(昭和七年十二月十一日—十七日發信)



# 英伊等歐洲六ヶ國 戰債年賦金支拂

## 佛白外三國は遂に不履行

ロンドン十二月十五日(水)は想像に難くないが、その具體的結果は今ところ全く不明である。アメリカ政府もこの點については未だ何等意見を表明してゐない。しかし財務長官ミルズ氏は本日次のごとく述べた。

「債務諸國の債務不履行が如何なる結果を誘致するかは未だ豫断を許さぬが、必ずしもアメリカとこれら債務不履行諸國との間における正常關係を断絶せしめる旨本日通告した。

## イギリスの第二次對米通牒

ロンドン十二月十二日(月)イギリス政府は十一日アメリカ政府に對し第三次戰債通牒を發した。右通牒の内容は左の通りである。

「イギリス政府は来る十二月十五日の戰債支拂年賦金を以て支拂ふことを貴政府に通告するものである。しかしながら右支拂は戰債年賦金支拂の再開と看做さるべきものにあらず、追つて協定さるべき最終決済中に計上さるべき元本支拂として取扱はるべきものとす。

「イギリス政府は各國政府間の現存諸協定が一般的廢棄に達する危険を回避するため明年六月十五日以前に戰債に關するアメリカ政府との討議が結了するを以て極めて緊要なりと思惟するものである。」

## 米國の回答

ワシントン十二月十一日(日)アメリカ國務長官スチムソン氏はイギリス政府より第三次戰債通牒を受するや直に財務長官ミルズ氏と議し、僅々二、三時間の後にこれに對する回答通牒を起草して迎へられた。藏相の演説は左の

## ベルギー拒絶

ブリュッセル 十二月十三日(火)

戰債問題に關しアメリカ政府と交渉中だつたベルギー政府は十二月十五日支拂期限に達する對米戰債年賦金は支拂ひを拒否するに決した。

## エストニア

ルヴァル十二月十五日(木)

エストニア政府はアメリカ政府に對し十二月十五日支拂期限に達する戰債年賦金の支拂に應じ得ざる旨本日通告した。

## 第四次通牒

ロンドン十二月十三日(火)

イギリス政府は本日午後アメリカ政府に對し戰債に關する第四次通牒を發した。右通牒の要旨は左の通りである。

「戰債問題の審議は既にアメリカ政府の同意を表明したところであるが、右審議の即時開始は刻下の緊急事である。

## 回答見合せ

ワシントン十二月十三日(火)

アメリカ國務長官スチムソン氏は戰債問題に關するイギリス政府の對米第四次通牒に關し本日大統領フーヴァー氏並に財政長官ミルズ氏と協議を遂げたが、その結果に關して政府當局は

「十二月十五日支拂期限に達する戰債年賦金支拂に關してイギリス政府が附した諸條件はアメリカ政府が右金額を受領する立場に何等影響するものでないとの結論に達したと語つた。従つてアメリカ官邊では右イギリス政府の通牒に對し回答を發しない模様である。」

## イギリスの年賦金支拂方法

### チェムバーレン藏相議會で説明す

ロンドン十二月十四日(水)本日の下院は對米戰債支拂問題の討議を開始し、先づ藏相チェムバーレン氏が對米戰債支拂の決定を述べ、議員の議場から拍手を以て迎へられた。藏相の演説は左の

# 比島獨立法案

## アメリカ上院を通過す

ワシントン十二月十七日(土)

アメリカ上院は本日フィリッピン獨立許容に關するホーズ・カッティング法案を最終的に可決した。右法案は十二年の準備期限の後十三年目にフィリッピンに獨立を許容せんとするものである。

比島獨立法案は右法案が可決された。比島兩院協議會に提出された。これに對するアメリカの賛同を期待する。これを以てアメリカに接近する最善の途となしたのである。

「下院議員諸君は僅々四億一千八百萬フランのために英佛兩國の同胞的關係を断絶せしめやうと試みてゐるのだ。」

## フランス下院 戰債支拂案否決

パリ十二月十四日(水)

エリオ内閣は十三日下院に對し十二月十五日支拂期限に達する對米戰債年賦金千九百二十六萬ドルを取敢えず留保附でアメリカ政府に支拂ふべしとの提案を提議した。遂にかく壓倒的大差を以て敗北した。これがためエリオ内閣は即時閣議を開き總辭職を執行することに決定した。

## 招集を議決

パリ十二月十四日(水)

對米戰債支拂問題の徹審審議に引續き、これが表決を行つたエリオ内閣を一敗地に塗れしめた下院は敗北したエリオ首相以下各閣僚が下院を退出するや徹夜の討議に

リッピン群島よりアメリカ本國に輸入される無税の砂糖、椰子油、大麻等の生産品制限の規定を設く。

「その後五ヶ年間フィリッピン群島はアメリカ本國に輸出する一切の商品に輸出税を課することを得、本輸出税は各年増すものとする。

「上記輸出税収入を以てフィリッピン群島の公債を整理すべし、右十二年の終りに於いてフィリッピンに特別選舉による憲法投票を行ひ、これが可決されれば、フィリッピン人民が主權を行使するものとなる。」

「戦債協定改訂交渉を即時開始せんことを要請する。

「現支拂は將來達成さるべき戰債年賦金の支拂は戰債に關する必要なる一般商議の結果決定まで断然延期すべし。

「將來戰債問題に關する一般的協定が新に成立せざる以上フランス政府は今後支拂を繼續することを得ない。

「閣員辭表提出」

「閣員辭表提出」

「閣員辭表提出」

「閣員辭表提出」











# 株式

## 株式市況

十二月十四日(水)

▲引締り▼ 本日のニューヨーク株式市場は戦債問題進行不安にも拘らず、市況堅りを呈した。ウォール街方面では戦債問題解決について樂觀的見解を抱いてゐる模様で、一部ではフランス及びベルギーの戦債不拂が結局問題解決を促進し、市場不安材料を除去するものとみられてゐる。經濟界の諸情報は餘り面白くない。鋼鐵作業率は更に一分方減つて全能力の一割五分となつた。しかし今週の電力及び石油生産統計は直してゐる。尤も中部アメリカ地方では原油の價格引下げの噂もある。債券市場は落付に乏しく、外國公社債は概して軟調、殊に戦債問題の紛糾でフランス、ベルギー

## △形勢展望▽

公債の低落が目立つてゐた。週初め市場は形勢觀望の姿であつたが、しかし買物もよく消化された。フランス、ベルギー兩國の戦債年賦金滞納の反響は極めて穩かであつた。これは多くの觀測家が右兩國のかくのごとき措置は結局戦債問題の最後の解決を早める結果となるものとみてゐるためである。一方商工界の情報は依然として人氣を引立てるやうなものもない。しかし春になれば若干季節的回復あるべしと各方面に豫想されてゐることは好材料となつてゐる。

## 株式市況

十二月十五日(木)

戦債問題の情勢が多少明くなつて来たため市況は最近稍や改善されて来た。又チェンバレーン蔵相が戦債支拂に關聯して特別課税を行はない旨發表したことも市場の人氣回復を扶けた。優等證券類は初め強調を呈してゐたが、その後金融市場引締りにつれ軟化した。然し十五日の一般の氣配は比較的良好で、ドイツ公社債類はドイツの軍縮會議復歸で直した。其の他の外國公社債類は初め直してゐたが、その後不透明となつて来た。日本公社債類は開散。支那公

## 金融

### 金融市況

十二月十五日(木)

クリスマス及び年末切迫で金融は引締つて来た。手形割引市場も漸次引締り氣勢にある。英蘭銀行より

### 金引出し

十二月十五日(木)

本日イングリランド銀行より一千九百六十三萬四千ポンドの正貨が引出された。これは本日期限に達した對米戦債年賦金の支拂に當てられたものである。

## 爲替

### 爲替市況

十二月十六日(金)

今週のニューヨーク外國爲替市場ではイングリランドの戦債年賦金支拂でポンドは強調を呈してゐる一方フランスは引締り、十四日(木)には終りに三セント九〇・八分の一と金現送點に陥つたが翌十五日は再び八分の一に戻しその後保合つてゐる。なほ銀行筋では今後爲替取引關係から多額の金を受入れられるものと豫想してゐる。

## 銀塊

### 銀塊市況

十二月十四日(水)

今週のロンドン銀塊市況に關しサミュエル・モンタギュー商會週報は左の如く報じてゐる。全週を通じて市況開散であつたインドル筋及びアメリカ筋は賣つたが、賣物は少量に過ぎなかつた。相場が下落したのは寧ろ需要薄のためである。支那筋は再び主な買手となつたが、毎日午後になるとアメリカ筋の賣物が現はれ、ため大引相場は引締りを呈した。而して目下のところ買氣は概して乏しいが、しかし四圍の情勢につれて安定するに至るであらう。

### 銀塊輸出額

十二月十二日(月)

前年	本年
一月	二、八〇〇
二月	三、〇〇〇
三月	三、二〇〇
四月	三、四〇〇
五月	三、六〇〇
六月	三、八〇〇
七月	四、〇〇〇
八月	四、二〇〇
九月	四、四〇〇
十月	四、六〇〇
十一月	四、八〇〇
十二月	五、〇〇〇
合計	四、八〇〇

## イギリス

### 金銀塊輸出入額

十二月十五日迄(一週)

輸出(單位千ポンド)	輸入
金塊 四、九〇〇	金塊 二、五〇〇
銀塊 一、〇〇〇	銀塊 一、〇〇〇
支那へ	支那へ
オランダへ	オランダへ
フランスへ	フランスへ
アメリカへ	アメリカへ
その他	その他

### 正貨積出高

十二月十六日(金)

ポルトサイドへ	一、〇〇〇
アレキサン	八〇〇
ドレックタへ	一〇〇

## 上海銀輸出

十二月十六日(金)

輸出	輸入
銀塊(本)	一、〇〇〇
銀塊(千兩)	一、〇〇〇
銀銀(千兩)	一、〇〇〇
銀銀(千兩)	一、〇〇〇
銀銀(千兩)	一、〇〇〇
銀銀(千兩)	一、〇〇〇

## 金物

### 金物市況

十二月十四日(水)

鋼鐵 鋼鐵會社作業率は今週更に一分方減退して目下全能力の一割五分となつたが、年末までには更に減少すべしと豫想されてゐる。しかし自動車生産増加により他の方面の純狀も差引され、市況は目下落付を示してゐる。

### 金物市況

十二月十六日(金)

市場は一般に開散、區々。鋼 鋼鐵會社作業率の発表によつて週初め相場は急落した。賣物の壓迫はその後減退し、相場も若干回復したものの、商内は頗る少く市場は依然として不安を續けてゐる。

## 金銀塊輸出入額

十二月十五日(木)

前年	本年
一月	二、八〇〇
二月	三、〇〇〇
三月	三、二〇〇
四月	三、四〇〇
五月	三、六〇〇
六月	三、八〇〇
七月	四、〇〇〇
八月	四、二〇〇
九月	四、四〇〇
十月	四、六〇〇
十一月	四、八〇〇
十二月	五、〇〇〇
合計	四、八〇〇

## 世界の銅需給状態

十二月九日(水)

ニューヨークにおいて開催中であつた國際銅會議の決議により、ニューヨーク、ロンドンの銅相場は一齊に下落し、内地の銅相場もこれに連れて暴落した。

### 現在の需給

然らば現在の需給状態はどうなつてゐるか。アメリカン・メタル・ソシエティの最近の報告によれば、現に角アメリカの生産高は略ぼ需要高に近く、均衡がとれてゐるのである。

### 四單位に分割

右はイギリスが一封度二ペンスの關稅を實施すれば、世界の銅界はアメリカ、英帝國、日本及びロシア、其他諸國の四單位に分割されるべしとの豫想からフォーゲル・シユタイン氏が分類したものであるが、現に角アメリカの生産高は略ぼ需要高に近く、均衡がとれてゐるのである。

### 鐵鋼生産高

十一月

本年	前年
十一月	二、六〇〇
十月	二、五〇〇
九月	二、四〇〇
八月	二、三〇〇
七月	二、二〇〇
六月	二、一〇〇
五月	二、〇〇〇
四月	一、九〇〇
三月	一、八〇〇
二月	一、七〇〇
一月	一、六〇〇

### 爲替市況

### 金物市況

### 株式市況

### イギリス











# 製鐵合同方針大綱

## 來議會に法案提出されん

中島商相は製鐵合同問題に關し、高橋藏相と懇談を遂げた結果、高橋藏相も賛意を表明し更に軍部に對して合同方針を示して諒解済みとなつたので、中島商相は鐵鋼各社とも個々に交渉をなし既に某社より内諾を得たものと見て、中島商相の製鐵合同に關する大方針は、大要左のごとくである。民間會社との交渉成立をみたる時は、來春休會明け議會開議製鐵合同法案並びにこれに伴ふ法律案(廢止を含む)數件を提案、その協賛を得次第評價委員會により各社の資産を厳密に評價の上、合同の實現に向つて進捗する段取りである。

▲合同の根本目的

從前我が國製鐵業自給自足を目標として保護獎勵策を採つて來たが、既に我が國製鐵業は保護獎勵を要せざる程度に發達してゐる。現在製鐵事業を如何に統制する

れば現在より以上生産費を低下し國民に對し鐵製品を市價を減減し得るかが第一義となつて來た。よつて政府は生産原價の低下を第一目標として今次の合同方針を確立する。

▲製鐵合同の方法

一、八幡製鐵所を民間に拂下げる形式の下に現物出資として八幡製鐵所を評價し、民間各社の資産をも評價して最初は鐵鋼六社(八幡、東洋製鐵、輪西、釜石、兼二浦、淺野造船)を中心に第一次合同を完了の上更に製鐵七社(富士製鐵、九州製鐵、神戸製鐵、日本鋼管、大阪製鐵、淺野小倉、東海鋼業)の第二次合同を行ふこと。なほ滿洲の本溪湖、鞍山兩製鐵會社に對しても加入を奨励すること。

二、合同するべき各製鐵會社の債權債務はこれを全部清算した後に、合同したものは認められなかつたが、しかし物色人氣は引續き可なり旺んなものあり、部分的には相當の動きを演じた。

短期新東は週初め一氣に六圓四十錢方上されて二三百圓九十錢と十數年振りの二百圓臺を示現して寄付き同日中に二百九圓ドタの高値に買進された。

これは最近聯盟不安人氣が漸く薄れて連日上進歩調を示し、殊に株式出來高激増が東株に對する樂觀材料となつてゐた折柄、休日前の大株市場において一歩先んじて二百圓臺を示現して人氣を煽つたためである。

尤も商内は特に中心となるものなく、大衆買ひが主となつてゐるだけ高値は利喰ひ急ぎの姿となつた。殊に一旦樂觀されてゐた聯盟もイギリスが突如として強硬態度に出たため一層人氣を抑制するところとなり急反落商

### 東株科學

#### 十二月第三週

年末恒例の餅搗相場場で連日の動きは相當大幅を示し、週初め以來保合ひとみるべき日は一日もなかつた。

これに對する材料としては特筆すべき何物もなく最も注目されてゐる聯盟さへも單に成行きの變化如何が報ぜられるのみで具體的の何物も得られなかつた。

環境は平凡

環境商品市場もぼつ／＼動いてはゐるが何れも漸く波瀾一段落の態で僅に株式市場の成行きに隨つて小往來を繰返してゐるのみである。かくてこれ亦何等な株式市場動搖の材料とはなり得なかつた。全く株式獨自の動きのみで大體において高値は一段落となり、特に相場の位置が變

行ふこと。

三、資産評價はこれを嚴正公平に行ひ全民間會社對八幡の比率を四對六程度とすること。

四、現在八幡製鐵所が預金部より借入れてゐる運轉資金(借入金限度七千萬圓)の特典はこれを合同新會社に繼承すること。

五、軍部より八幡製鐵所に負はされてゐる兵器研究と一ヶ年間百五十萬圓の鑛石貯藏義務は新會社においてこれを存續すること。

六、新會社の設備改善のために要する新運轉資金約四千萬圓は民間よりこれを供給すること。

七、新會社は從來のスクラップ法より鐵鋼一貫法に全部轉換すること。

八、これ等合同に参加し得ざる弱小製鐵會社は嚴密なる評價によりこれを評價の上合同會社の株式によつてこれを買収すること。

▲政府の新會社に對する權限

一、新會社は豫算決算並に理事者の選任については政府へ届出の義務があること。

### 新東の激動

維株類も相當反落を演じたが依然として循環買ひが行はれてゐる。これがため新東も單なる利喰ひ押しとみられ、再び買ひ人氣となつた。即ち十四日二百三圓五十錢、十五日六圓四十錢と進み、十六日には二百九圓四十錢と週初めの高値を一步上抜いて短期清算取引開始以來の最高値を示した。

### 再び上進

週末は利喰ひと一部の聯盟懸念等から一圓八十錢と押しつけて四圓九十錢と引け、徹頭徹尾波瀾の一週間であつた。

併し既に立會日數も残り少なくなつて來たことでもあり、旁々年末氣分からこの邊幾分か落付きに向ふのではないかと見られてゐる。

### 目先落付きか

二、政府は常に過半數の株式を所有し國策上の見地より製鐵會社へ命令を發し得ることとする。

三、日本銀行調査、十二月分東京小賣物價指數は一四六・〇で昭和五年十月以來の高位を示すに至つた。

前月比較

十二月總平均 一四六・〇

△備考 右基準は一九一四年(大正三年)七月を一〇〇とす。過去の比較は左の通りである。

昭和七年一月 一三六・八

二月 一三六・六

三月 一三六・四

四月 一三六・二

五月 一三六・〇

六月 一三五・八

七月 一三五・六

八月 一三五・四

九月 一三五・二

十月 一三五・〇

十一月 一三四・八

十二月 一三四・六

### 小賣物價指數

日本銀行調査、十二月分東京小賣物價指數は一四六・〇で昭和五年十月以來の高位を示すに至つた。

前月比較

十二月總平均 一四六・〇

△備考 右基準は一九一四年(大正三年)七月を一〇〇とす。過去の比較は左の通りである。

昭和七年一月 一三六・八

二月 一三六・六

三月 一三六・四

四月 一三六・二

五月 一三六・〇

六月 一三五・八

七月 一三五・六

八月 一三五・四

九月 一三五・二

十月 一三五・〇

十一月 一三四・八

十二月 一三四・六

### 小賣物價指數

十一月中 一四五・五

△備考 右指數は東京、大阪、京都、名古屋、横濱、神戸、廣島、福岡、金澤、新潟、仙臺、高知、小樽における小賣物價百種につき調査算出したもので、昭和四年十二月十六日の價格を基準一〇〇としてゐる。過去の比較は左の通りである。

昭和七年一月 一三六・八

二月 一三六・六

三月 一三六・四

四月 一三六・二

五月 一三六・〇

六月 一三五・八

七月 一三五・六

八月 一三五・四

九月 一三五・二

十月 一三五・〇

十一月 一三四・八

十二月 一三四・六

### 綿業統計

十二月月上旬

綿糸輸出高

△大日本紡績聯合會調査

(單位俵)

本年 計年 同昨 期年

滿洲 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

香港 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

支那 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

英領 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

其他 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

合計 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

### 棉花輸入高

大日本紡績聯合會調査、大阪、神戸、横濱、名古屋四港輸入高、單位俵、一名は三百斤

計年 同昨 期年

上海 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

關東 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

其他 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

合計 一〇三・三 一〇三・三 一〇三・三

## 昭和六年貿易外收支 (大藏省發表)

受取勘定 (單位千圓)			支拂勘定 (單位千圓)		
昭和六年	前年比較増(*印減少)		昭和六年	前年比較増(*印減少)	
經常的収入	446,764	* 78,072	經常的支拂	363,144	* 28,677
外國證券利子及配當等	17,971	* 4,471	外國人拂本邦證券利子及配當等	90,355	* 12,478
外國國債利子	9,695	* 1,132	國債利子	46,380	* 8,430
外國地方債利子	756	* 76	地方債利子	8,650	* 804
外國株式配當及預金利子等	7,520	* 3,263	社債利子	25,092	* 449
海外事業及勞務利金	89,979	* 16,340	借入金利子	756	* 1,803
事業純益	58,276	* 10,025	配當金等	3,568	* 801
出稼人等仕送及持歸金	31,703	* 6,315	預金利子	5,909	* 461
海運關係收入	166,911	* 27,509	外國人内地事業及勞務利金	11,895	* 3,787
輸入貨物運賃	58,760	* 10,833	事業純益	9,468	* 3,295
輸出貨物運賃	36,807	* 4,090	仕送及持歸金	2,427	* 492
外國間輸送貨物運賃	44,609	* 5,944	海運關係支拂	66,270	* 2,815
外國旅客運賃	13,906	* 2,939	船舶會社海支	7,371	* 414
備船料	2,195	* 1,751	外支店經費	595	* 254
外國艦船需用品購入代	6,731	* 2,691	船舶需品購入代等	17,735	* 2,283
外國艦船修繕代	985	* 52	船舶修繕代	557	* 562
噸税及水先案内料等	2,918	* 637	荷役費及噸税等	40,012	* 190
保險關係收入	108,812	* 7,406	保險關係支拂	105,896	* 9,958
本邦海上保險會社收入	37,112	* 8,331	本邦海上保險會社支拂	36,502	* 4,843
本邦生命火災保險會社收入	49,401	* 192	外國保險會社支拂	45,103	* 3,837
外國保險會社收入	22,299	* 733	外國保險會社支拂	24,291	* 1,278
外國人本邦內消費	43,166	* 7,564	本邦人海外消費	44,897	* 5,120
來遊外人消費	23,756	* 6,649	海外旅行者消費	26,599	* 2,320
外國輕便船乘組員消費	2,794	* 303	船舶乘組員消費	3,139	* 1,757
外國人留學生消費	1,159	* 441	留學生消費	4,684	* 1,173
布教費等消費	11,009	* 24	其他本邦人海外消費	609	* 8
外國公館經費	4,448	* 195	在外公館經費	9,866	* 122
他項に掲げざる政府海外收入	7,647	* 8,187	他項に掲げざる政府海外支拂	37,896	* 7,838
政府海外收入	7,647	* 8,187	其他	37,896	* 7,838
其他	12,278	* 6,595	貿易表掲記外	5,935	* 2,087
貿易表掲記外	0	* 0	船舶購入代	0	* 0
船隻賣却代	11,015	* 5,482	漁業借區料等	3,669	* 1,969
同水産物輸出代	1,263	* 1,113	雜	2,266	* 118
臨時の収入	439,574	* 8,817	臨時の支拂	672,238	* 93,565
外國人本邦放資	152,624	* 128,514	本邦人海外放資	302,154	* 33,882
本邦國債募集	0	* 0	外國國債募集及購入	219,719	* 38,678
同地方債募集	49,656	* 49,656	外國地方債及社債同上	4,415	* 3,552
同銀行會社	28,483	* 40,367	外國株式同上	943	* 3,256
同國債賣渡	42,619	* 35,167	海外貸付金	7,016	* 3,627
同地方債及社債賣渡	15,760	* 1,906	海外事業投資	71,061	* 5,649
同株式賣渡	16,106	* 1,733	外國人本邦放資回收	369,084	* 59,683
本邦人海外放資回收	286,950	* 137,333	本邦國債償還	93,287	* 91,561
外國國債償還及賣渡	237,381	* 125,589	同地方債償還	4,668	* 293
外國地方債及社債同上	5,068	* 3,074	同社債償還	12,399	* 2,568
及社債同上	191	* 644	同銀行會社借入	27,194	* 97,511
外國株式賣渡	9,671	* 2,128	入金返償等	163,599	* 33,789
海外貸付金回收	34,639	* 7,186	同國債買戻	63,734	* 29,435
海外事業投資回收	0	* 0	同地方債買戻	4,203	* 452
合計	886,338	* 69,253	合計	1,035,382	* 64,888
			經常的收支(受取超過)	83,620	* 49,395
			臨時の收支	232,664	* 84,746
			合計(支拂超過)	149,044	* 134,141

(昭和七年十二月十一日一七時發信)



(昭和七年十二月十一日—十七日發售)

# 週統計

## アメリカ通貨及金融状態

(12月14日現在、單位百萬ドル)

	昨年同期	現在
金保有高	4,369	4,458
通貨流通高	5,664	5,578
準備銀行割引手形	284	698
同 買入手形	34	307
同 手持政府證券	1,851	906
仲買人貸付高	393	662

  

△備考	金保有高	流通高	手形証券	仲買人貸付
11月30日	4,338	5,648	2,195	353
12月7日	4,352	5,669	2,184	392
4日	4,369	5,664	2,169	393

## アメリカ聯邦準銀週報

(12月14日現在、單位百萬ドル)

	昨年同期	現在
資産總額	6,053	5,843
金準備	3,093	2,982
内聯邦準備券に對する準備	2,328	1,985
割引手形	284	698
買入手形	34	307
政府證券	1,851	906

  

負債總額	昨年同期	現在
聯邦準備券流通高	2,714	2,528
預金	2,485	2,309
内加盟銀行勘定	2,425	2,168

  

聯邦準備券及預金に對する支拂準備率 63% 1 65% 0

△備考	金準備	準備券流通高	預金	準備率
11月30日	3,049	2,692	2,484	62% 6
12月7日	3,078	2,721	2,467	62% 9
4日	3,093	2,714	2,485	63% 1

## イングランド銀行週報

(12月14日現在、單位千ポンド)

	昨年同期	現在
政府預金	8,500	12,027
民間預金	120,700	111,517
内銀行	86,300	73,338
其他	34,400	38,179
政府證券	74,200	61,466
其他證券	29,700	47,081
内割引及貸付	11,700	12,872
證券	18,000	34,209
紙幣及金銀貨	43,000	32,894
金地金在高	140,300	121,428
英蘭銀行券流通高	372,300	363,534
預金準備割合	33% 31	26% 59

  

△備考	諸預金	諸證券	準備金
11月30日	1,377	991	566
12月7日	1,473	1,153	497
4日	1,292	1,039	430

  

	金地金	銀行券流通高	割合%
11月30日	1,404	3,588	41
12月7日	1,404	3,657	31
4日	1,403	3,723	33

## フランス銀行週報

(12月9日現在、單位百萬フラン)

	昨年同期	現在
金準備	83,344	67,994
紙幣流通高	82,482	82,650
金準備率	101% 0	82% 3

  

△備考	金準備	紙幣流通高	準備率
11月25日	83,342	81,536	102% 2
12月2日	83,359	83,200	100% 2
9日	83,344	82,482	10% 0

## ライヒス銀行週報

(12月15日現在、單位百萬マルク)

	昨年同期	現在
兌換準備總額	917	1,160
内金準備	799	1,002
外國爲替	118	158
紙幣流通高	3,400	4,538
準備率	27% 0	25% 6

  

△備考	兌換準備	内金準備	外國爲替	流通高
11月30日	937	827	110	3,531
12月7日	918	804	114	3,439
15日	917	799	118	3,400

## 日本銀行週報

(日本銀行12月13日發表、12月4日—12月10日平均單位千圓)

	昨年同期	現在
發行高	1,080,409	1,005,665
正貨準備	427,924	521,497
保證準備		
公債	240,906	61,026
政府證券	44,542	22,000
證券	54,497	49,775
手形	312,539	351,265
合計	652,485	484,067

## 營業報告

(12月10日現在、單位千圓)

	昨年同期	現在
資本金	60,000	60,000
積立金及損益金	123,719	119,499
發行兌換銀行券	1,060,949	1,000,482
政府預金	312,144	324,013
當座預金	86,691	160,199
其他	225,452	163,813
一般預金	258,499	78,556
小額紙幣準備	11,380	11,480
備保託金		
其他	100,927	91,081
合計	1,927,620	1,685,113

  

	昨年同期	現在
拂込未済資本金	15,000	15,000
現金及地金	480,838	582,699
金貨及金地金	427,068	521,363
其他	53,769	61,335
割引手形	655,075	704,622
政府法定貸金	22,000	22,000
政府一時貸金	25,467	2,924
貸付金	27,031	32,706
外國爲替貸金	29,994	53,725
公債	450,562	119,559
代理店勘定	155,819	120,173
政府勘定特殊現金	35,080	7,501
小額紙幣準備	11,380	11,480
備保管金		
其他	19,372	12,720
合計	1,927,620	1,685,113

## インド政府通貨週報

(12月15日現在、單位十萬ルピー)

	昨年同期	現在
紙幣流通高	174,90	170,86
銀塊銀貨	111,63	126,47
金塊金貨	18,54	4,56
證券	44,71	39,83
爲替手形	—	—

  

△備考	紙幣流通高	在印銀	在印金	印度政府證券
11月30日	175,63	112,95	11,75	50,91
12月7日	175,34	112,66	11,75	50,91
15日	174,90	111,63	18,54	44,71

## 上海銀在荷高

	12月15日現在	昨年同期
上海市中總在荷高	140,500千兩 190,700千弗	54,708千兩 174,720千弗
内支那銀行手持高	37,500千兩 159,900千弗	19,370千兩 150,630千弗

  

△備考	上海總在荷高	
	千兩	千弗
12月1日	134,200	195,500
8日	138,500	191,800
15日	140,500	190,700

## アメリカ棉花統計

(ニューヨーク棉花取引所發表、12月16日迄今季累計、單位千俵)

	昨年同期	現在
出廻高	8,476	9,485
米國紡績引渡高	2,436	2,561
輸出高	3,731	3,650
内日本	801	862
支那	114	587
英國	624	529
ドイツ	887	735
ニューヨーク在荷	202	222
アメリカ在荷	7,134	6,849
各國棉世界在荷	11,481	11,075
内米棉	9,836	9,271
世界各國紡績米棉引渡高	5,444	5,442

  

△備考	出廻	引渡	輸出	對日輸出	紐育在荷	米國在荷
12月2日	518	149	362	130	202	7,073
9日	440	157	281	95	202	7,083
16日	326	66	217	57	202	7,134

## 世界紡績米棉引取高

(ハスター氏12月9日發表、單位千俵)

	今週	前週
今週	3:2	(前週 347)
▲リヴァプール米棉在荷	今週 424	(前週 421)

## エジプト棉花統計

(アレキサンドリヤ一般取引所發表、12月15日迄今季累計、單位千カントナ)

	昨年同期	一昨年同
入荷高	2,781	3,828
輸出高	1,880	2,383
在荷高	4,271	5,130

  

△備考	入荷高	輸出高	在荷高
12月1日	210	259	4,176
8日	240	1:6	4,293
15日	191	202	4,271

## ボンベイ棉花統計

(ボンベイ棉花取引所發表、本年9月1日より12月15日迄累計、單位千俵)

	昨年同期	一昨年同
入荷高	316	258
輸出高	96	61
歐洲	—	93
支那	—	106
日本	177	146
其他	5	17
計	278	322
在荷高	496	358

  

△備考	入荷高	輸出高	在荷高
12月1日	29	12 6 — 6	500
8日	30	21 9 — 14	495
15日	41	25 6 — 19	496

## キューバ砂糖統計

(ウイレット・グレー商會12月10日調、單位トン)

	昨年同期	現在
作業中工場	—	—
生産高	2,602,900	3,122,186
キューバ消費高	—	130,000
輸出港入荷高	1,750,600	2,075,460
輸出高	1,428,800	1,471,072
製糖工場在荷及鐵道輸送中	852,300	916,726
輸出港在荷	321,800	604,388

  

△備考	生産高	入荷高	輸出高	工場在荷及輸送中	輸出港在荷
11月26日	—	90	222	8,792	3,393
12月3日	—	77	211	8,715	3,259
10日	—	192	233	8,523	3,218

## イギリス・ゴム統計

(ロンドン・ゴム協會發表、單位トン)

	12月4日	本年累計	前年同期
入荷高	659	37,236	62,837
引取高	1,545	66,167	66,226
在荷高	39,381	—	72,785

  

△備考	入荷高	引取高	在荷高
11月26日	903	830	41,025
12月3日	267	1,025	40,267
10日	659	1,545	39,381

## 週末在荷民間豫想

12月16日(金) 805トン減

## 週末在荷民間豫想

12月16日(金) 350トン減

## 大連埠頭特産物荷動統計

(12月6日—10日、單位千キログラム)

	昨年同期	現在
大豆		
入庫高(奥地より到着)	72,638	51,796
出庫高	38,087	32,121
内輸出	24,047	16,306
市内へ搬出	14,040	15,815
在庫高	172,236	221,172
豆		
入庫高	14,632	18,204
内奥地より到着	4,915	5,508
市内より搬入	9,717	12,696
出庫高(輸出)	5,945	20,797
在庫高	36,364	67,534
豆油		
在庫高	990	1,421

  

	12月11日—15日	昨年同期
大豆		
入庫高(奥地より到着)	72,906	40,498
出庫高	66,568	27,712
内輸出	55,238	16,198
市内へ搬出	11,280	11,514
在庫高	178,574	233,968
豆		
入庫高	16,061	15,916
内奥地より到着	4,299	4,600
市内より搬入	11,762	11,316
出庫高(輸出)	14,059	5,922
在庫高	38,366	77,538
豆油		
在庫高	1,448	1,569



證 券 相 場	ニ ュー ヨ ー ク	スチール株 (百円)										長期先限後場引値 (額面百圓建)								
		スチール株 (百円)				アナコ	ゼネラ	ラジオ	モンゴ	鐵道株	工業株	諸株	株	甲	第三	一四	二四	二五	二八	佛
		寄付	高値	安値	大引	株 (50円)	株 (10円)	株 (10円)	株 (10円)	株 (10円)	株 (10円)	株 (10円)	株 (10円)	五分	五分	四分	四分	五分	五分	四分
12月12日(月)		32%	32%	32%	32%	8	13%	5%	14	27.87	61.48	100	99.00	98.05	89.45	89.55	—	—	—	
13日(火)		32%	32%	31%	31%	7%	13%	5%	13%	27.47	60.35	75	98.90	97.95	89.10	89.00	—	—	155.35	
14日(水)		31%	32%	31%	32%	7%	14	5%	14%	28.16	61.93	100	98.95	97.90	89.20	89.25	99.85	99.70	156.20	
15日(木)		33%	33%	31%	31%	7%	13%	5%	14	27.84	61.16	100	—	97.90	89.05	89.15	—	—	—	
16日(金)		31%	31%	30%	30%	6%	13%	5%	14	27.70	60.52	100	99.00	98.00	89.35	89.45	99.90	—	156.60	
17日(土)		30%	30%	30%	30%	6%	14	5%	14	27.59	60.11	50	—	98.00	89.40	89.55	99.90	—	156.70	

證 券 相 場	ニ ュー ヨ ー ク	日本公社債 (百円付)														
		日六分半利	同五分半利	東京市五分半利	横濱市六分	東市五分半利	東拓五分半利	同六分利	東京電燈新六分利	大同電力七分利	同六分利	東邦電力七分利	宇治川電氣七分利	日本電力六分半利	東京電燈六分半利	臺灣電力五分半利
		弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗
12月12日(月)		59%	49%	41%	46%	—	—	36%	—	35	—	43%	36%	—	40	
13日(火)		59%	49%	41%	46%	39%	—	36%	43	34%	—	43	37%	—	39%	
14日(水)		59%	49%	41%	45%	39%	44	36%	42	35	—	42%	37%	—	39%	
15日(木)		59%	49%	41%	45	39%	—	36%	—	34%	52	42	—	—	40%	
16日(金)		59%	49%	40%	45%	39%	43	37	43	—	51%	43%	37%	—	41%	
17日(土)		59%	49%	41	46%	—	42%	38	42%	34%	52	—	37%	—	41	

證 券 相 場	ロ ン ド ン	日本公社債 (百円付)														
		第一回利貨	同利貨	五分利貨	六分利貨	五分半利貨	東京市利貨	東京電燈五分利	同五分利	東邦電力五分利	大阪市電軌五分利	元滿鐵四分半利	滿鐵五分利	東京電燈五分利	興業五分利	
		磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	磅	
12月12日(月)		51%	50	61%	72%	82%	83	56	62	67%	83%	60%	67	94		
13日(火)		51%	49%	60%	71%	82	83	54%	62	67%	83%	60	67	94		
14日(水)		51%	49%	60%	72	82%	83	53	61%	66	83%	59	67	95		
15日(木)		51	49%	60%	72%	82%	83	53	62	66	83	60	64%	95		
16日(金)		51%	50	60%	72%	82%	83	54	62	66	83	60	63%	95		
17日(土)		51%	50	60%	72%	83	83	54	62	67%	83%	59	65	95		

金	ニ ュー ヨ ー ク	一流銀行引受手形割引率				三ヶ月携形割引率	東京市中金利					
		30日	60日	90日	空日拂		無条件	普通物	紡績	商業	擔保附	
		歩	歩	歩	銭		銭	銭	銭	銭	銭	
12月12日(月)		1	0%	0%	0%	0%	0.60-0.90	0.60-0.90	0.65-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90
13日(火)		1	0%	0%	0%	0%	0.60-0.90	0.60-0.90	0.65-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90
14日(水)		1	0%	0%	0%	0%	0.60-0.90	0.60-0.90	0.65-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90
15日(木)		1	0%	0%	0%	1%	0.60-0.90	0.60-0.90	0.65-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90
16日(金)		1	0%	0%	0%	1%	0.65-0.90	0.65-0.90	0.70-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90
17日(土)		休	—	—	—	1%	0.65-0.90	0.65-0.90	0.70-0.90	1.15-1.30	1.15-1.80	1.50-1.90

利	大 阪 市 中 金 利	手形割引率						金銀塊相場				巨		金 銀 塊 相 場
		空日拂	無条件	月越物	六十日物	商業	紡績	現物	先物	現物	先物	出	入	
		銭	銭	銭	銭	銭	銭	片	片	片	片	兩	兩	
12月12日(月)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.80-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.85-1.20	17%	17%	25%	25%	801.6		
13日(火)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.75-1.20	0.75-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17%	17%	25%	25%	810.0		
14日(水)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.75-1.20	0.75-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17%	17%	25%	25%	806.3		
15日(木)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.75-1.20	0.75-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17%	17%	25%	25%	811.9		
16日(金)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.75-1.20	0.75-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17	17	25%	25%	808.4		
17日(土)		0.60-0.90	0.60-0.90	0.75-1.20	0.75-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17	17%	25%	25%	807.1		

外 國	ニ ュー ヨ ー ク	電信為替銀行賣 (△印名目)										電信為替銀行買		
		ロンドン	日本	上海	香港	オランダ	ドイツ	イタリア	スイス	ブラジル	カナダ	ロンドン	日本	
		(一磅)	(百圓)	(百圓)	(一法)	(一盾)	(一マルク)	(一リラ)	(一法)	(一ミレイス)	(一ドル)	(一磅)	(百圓)	
12月12日(月)		3.26%	21.00	28%	3.90%	40.17	23.79	5.12	19.23%	13%	7.63	1.6%	84	405
13日(火)		3.28%	20.87	28	3.90%	40.18%	23.79%	5.11%	19.23%	13%	7.63	1.6%	85	405
14日(水)		3.28%	20.87	27%	3.90%	40.19	23.81	5.11%	19.23%	13%	7.63	1.6%	84	402
15日(木)		3.29%	21.00	27%	3.90%	40.19	23.80	5.11%	19.23%	12%	7.63	1.6%	83%	401
16日(金)		3.30	21.12	27	3.90%	40.18%	23.80	5.11%	19.24%	12%	7.63	1.6%	84	401
17日(土)		3.31%	21.12	28	3.90%	40.17%	23.81	5.11%	19.24%	12%	7.63	1.6%	84%	399

外 國 為 替 相 場	ロ ン ド ン	電信為替銀行買 (△印名目)						電信為替銀行賣 (一磅付)						シ ン ガ ポ ー ル
		アメリカ	上海	香港	日本	同市場	パリ	ベルリン	アムステルダム	プラッ	マド	ミラン	ベルン	
		(一磅)	(一兩)	(一兩)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	
12月12日(月)		3.25%	1.9	1.6%	1.4%	1.3%	83.43	13.69	8.10	23.50	39.96	63.62	16.97	25
13日(火)		3.27%	1.8%	1.6%	1.4	1.3%	83.84	13.73	8.14	23.67	40.37	63.93	17.01	25
14日(水)		3.28%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3%	84.18	13.78	8.17	23.73	40.28	64.18	17.09	25
15日(木)		3.28%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3%	84.50	13.81	8.18	23.76	40.37	64.37	17.10	25
16日(金)		3.31%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3%	84.84	13.90	8.23	23.92	40.68	64.68	17.22	25
17日(土)		3.31%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3%	84.84	13.93	8.25	23.93	40.59	64.65	17.22	25

外 國 為 替 相 場	巨	電信為替銀行買				電信為替銀行賣				カ ル カ ツ タ		
		ロンドン	日本	上海	香港	ロンドン	上海	日本	香港			
		(一兩)	(百圓)	(百圓)	(百圓)	(一磅)	(百圓)	(百圓)	(百圓)			
12月12日(月)		1.8%	75%	74%	28%	1.8%	76%	△104	21%	8.16%	—	52
13日(火)		1.8%	74%	74%	27%	1.3%	76%	△102	21%	8.22%	—	53
14日(水)		1.8%	74%	74%	27%	1.3%	76%	△101	21%	8.22%	—	52%
15日(木)		1.8%	75	74%	27%	1.3%	76%	△101%	21%	8.22%	—	52%
16日(金)		1.8%	75%	74%	27%	1.3%	76%	△102	21%	8.22%	250	52%
17日(土)		1.8%	75%	74%	27%	1.3%	76%	△101%	21%	8.26%	250	53%

為 替 内 地 相 場	對 米 為 替 (午 中 後 三 時 場)	東京				大阪				横濱				神戶			
		賣手	買手	賣手	買手	賣手	買手	賣手	買手	賣手	買手	賣手	買手	賣手	買手		
		弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	
12月12日(月)		20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%		
13日(火)		20%	21	20%	21	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%		
14日(水)		20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%		
15日(木)		20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%		
16日(金)		20%	21	20%	21	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%		
17日(土)		20%	21%	20%	21%	20%	21	21	21%	20%	21	21	21%	20%	21%		



Table with columns for metal prices (金物相場), including items like 標準鋼, 電氣鋼, and 鉛, with sub-columns for '現物' and '先物' prices.

Table for iron and steel prices (鐵鋼相場), listing items like 鐵鋼第一號, 鐵鋼第二號, and 鐵鋼第三號 with their respective prices.

Table for cotton prices (棉相場), showing monthly price ranges for 12 months and current market values.

Table for flower prices (花相場), including 3-month and 1-month price limits for various cotton grades.

Table for Osaka Cotton Market (大阪綿糸), detailing prices for different cotton grades and their monthly price trends.

Table for Tokyo Cotton Market (東京綿糸), listing prices for various cotton grades and their monthly price movements.

Table for cotton prices (生糸), showing monthly price ranges and current market values for different grades.

Table for cotton market (糸相場), providing detailed price data for various cotton grades and their monthly price limits.

Table for market prices (相場), listing prices for various goods like 支那再織糸, 上海七里糸, and 廣東新式糸.



Table with columns for market type (e.g., 砂糖), date (12月12日), and various price points (e.g., 0%, 0.71, 0.76).

Table with columns for market type (e.g., 相場), date, and price points for various categories like 分蜜糖 and 麻袋相場.

Table with columns for market type (e.g., 油脂相場), date, and price points for various oils like 棉實油 and 大豆油.

Table with columns for market type (e.g., 小麥), date, and price points for various wheat grades like シカゴ and ポートランド.

Table with columns for market type (e.g., 相場), date, and price points for various commodities like リヴァプール and 東京期米.

Table with columns for market type (e.g., ゴム相場), date, and price points for various rubber types like シンガポール and シート.

Table with columns for market type (e.g., 滿洲特産物相場), date, and price points for various goods like 大豆 and 大豆油.

Table with columns for market type (e.g., 金融統計), date, and price points for various financial metrics like 兌換券發行高 and 正貨準備.

Table with columns for market type (e.g., 金融統計), date, and price points for various exchange rates and financial data.



東京株式長期清算取引相場

(後單位・大十錢)

Table with columns for ship types (郵船, 同新, 商船, 東京電燈, 富士紡, 同新, 鐘紡) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for various goods (鐘紡新, 日清紡, 同新, 東洋紡, 同新, 片倉製絲, 大日本麥酒) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (大日麥酒新, 麥酒鑛泉, 同新, 日魯漁業, 同新, 大日製糖, 同新) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (臺灣製糖, 同新, 新高製糖, 同新, 帝國製糖, 同新, 明治製糖, 同新) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (沖繩製糖, 大連信新, 橫濱取引, 東京米商, 同新, 大株新, 大連株商, 東京株式) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (東株新, 國蔡通運, 橫濱船渠, 石川島造船, 北海炭礦, 磐城炭礦, 入山探炭, 三菱鑛業, 東京製鋼, 日本鋼管, 同慶先, 東洋製鐵, 戶畑鑄物, 人造肥料, 窒素肥料, 電氣化學, 帝國火藥, 熱帶產業, 品川白煉, 日本セメ) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (淺野セメ, 磐城セメ, 日本産業, 同新, 日本石油, 同新, 南滿鐵道, 同新, 乘合自動, 興銀, 東拓, 秋田木材, 東京瓦斯, 鬼怒川電, 東信電氣, 北海道電, 東邦電力, 大同電力, 同新, 日本電力, 同新, 日活, 松竹キネ, 富士製紙) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '當先' and '中先'.

Table with columns for goods (富士紙新, 王子製紙, 同新, 樺太工業, 帝國製麻, 同新, 大日本水, 三越, 同新, 日清製粉, 同新, 出來高, 新東株, 鐘紡) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '前寄', '後引', '高', '安'.

Table with columns for goods (新鐘紡, 新日糖, 明糖, 新郵船, 新麥酒, 新淺野) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '前寄', '後引', '高', '安'.

Table with columns for goods (日本産業, 日本石油, 新南滿, 東京電燈, 新富士紙, 王子製紙, 出來高) and dates from Dec 12 to 17. Includes sub-columns for '前寄', '後引', '高', '安'.



